**内閣府　平成30年度 沖縄型産業中核人材育成事業**

**「IoT機器のセキュリティ評価・検証プロセスを修得する上級エンジニアの育成プログラム」**

**における受講生募集について**

平成30年7月25日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　一般社団法人

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS)

**■事業の概要**

本事業は、内閣府からの委託で実施される人材育成事業であり、CCDSが受託事業者として実施するものである。本事業の講習プログラム受講により、IoT領域におけるセキュリティ関連事業の獲得に向けた中核人材となってもらうことが期待されている。

**■人材育成プログラムの目的**

IoT機器のセキュリティを評価・検証するために必要なプロセスや手順を、CCDS IoTセキュリティ評価検証ガイドラインに沿って、セキュリティの検証実行、管理に必要な知識、スキルを教育する事で、より付加価値の高い検証（開発）業務を遂行できる上級エンジニアを育成する。

**■開催概要**

・開催場所：琉球大学 地域創生総合研究棟 １F 産学官交流フロア

・開催予定：2018年9月～10月　※別紙　応募シート参照

・募集人数：18名　※公募により沖縄県企業より受講生を募集し、実行委員会にて確定

・講習プログラムの内容：別紙の講習プログラム概要を参照

・全日程を履修し、各講習の効果測定で合格したものには内閣府より受講修了証書を発行

**■応募条件・応募方法**

・必須条件：沖縄県在住のエンジニアで、9月～10月に実施する講習プログラムに、全回（３日間）出席可能であること。

・受講に必要なスキルレベル：受講内容を理解できる条件として、以下のスキル要件のいずれかを

満たすこと。

　１）評価・検証業務や開発業務において、規定のプロセスに則った開発あるいはテストに、３年以上

従事した実績を有するエンジニア

　２）評価・検証業務や開発業務において、プロジェクトマネージの経験を３件以上有するエンジニア

　３）開発業務あるいは評価・検証業務において、セキュリティ対策あるいはセキュリティ検証に関する

　　従事経験を1件以上有するエンジニア

・応募者が募集人数を超えた場合は、書類選考での評点をもとに受講者を決定する。

※１企業あたりの受講者数を2名程度までとし、なるべく多くの企業に受講いただけるように選考を行う。

・添付別紙の応募シートに必要事項を記入し、CCDS事務局＜ccds-sec@ccds.or.jp＞まで提出する。

・募集期限：2018年8月31日(金)　18:00到着分。

**お問い合わせ：**

**一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会事務局**

　　担当：田久保、城間

　　〒141-0021　東京都品川区上大崎2－12－1　野田ビル3F

　　TEL：03-6455-7193

　　E-Mail：ccds-sec@ccds.or.jp

応募シート

**【１．参加する受講者の方が、ご本人の情報をご記入下さい】**

■受講者の方の基本情報

・企業名：(　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

・所属：(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

・氏名: (　　　　　　　　　　　　)

・現在の役割・ポジション：(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

・これまでの業務実績（応募条件に関係するもののみで結構です）

※受講希望者が多数の場合の選考に影響しますので、募集要項記載の「受講に必要なスキルレベル１）～３）」に該当する案件については、漏れなく記載をお願い致します。

※該当業務に従事した期間が明確になるよう記載をお願いします。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象機器 | 業務種別 | 担当期間 | 担当役割 | 業務概要 | 該当するスキルレベル |
| 例）Webサイト | 評価・検証業務 | 2016/12～2017/04 | リーダー | テスト仕様の策定及び実行進捗管理、メンバー5名の業務管理等 | ② |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

**【２．参加する受講者の上司の方が、御社としてのご要望を踏まえご記入下さい】**

■①上司の方の役職・ご氏名

　役職：(　　　　　　　　　　　　　　)　氏名：(　　　　　　　　　　　　　　　　)

■②会社として、本講習プログラムと受講生に期待する効果

（選考基準を参考に、該当する項目をチェックして下さい）

|  |  |
| --- | --- |
| [x]  | 従来の品質に関するテスト技術に加えて、セキュリティ領域の検証技術を習得し、検証サービスの付加価値向上に貢献できる人材を育成したい |
| [x]  | 社内の開発業務において、製品品質や競争力向上のため、セキュリティ対策技術を習得した人材を育成したい |
| [x]  | IoTを含めたセキュリティ全般に関する知識や技術を、社内環境の整備に活用あるいは、社内に普及、啓発していける人材を育成していきたい |
| [ ]  | 現状では明確な役割/ポジションを想定していないが、IoTセキュリティに関する技術を習得して欲しい |
| [x]  | 検証/開発という領域を問わず、新規ビジネスのチャンスとして、IoTセキュリティに関する事業企画や事業推進に参画していける人材を育成していきたい |

■③受講生に期待する具体的役割、ポジション、業務内容

|  |
| --- |
| ・上記②にてチェックいただいた項目について、具体的な役割や、ポジション、業務内容について、自由記述でご記載下さい。 |
|  |

**【３．受講可能な日程】**

　受講可能な日程にチェックをお願い致します。募集要項に記載の通り、「１日目：基礎コース」「２日目：実践コース」「３日目：応用コース」の順に、全３日間のコースを受講可能な事が応募条件となっております。下記A～Iの候補日より、ご出席可能な日程を全て記載いただけますようお願い致します。

**※ご注意**

・可能であれば、同一週に３日間のコースをまとめて受講いただきたいと思います。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| [ ]  | A | 【１日目】基礎コース | 【２日目】実践コース | 【３日目】応用コース |
| 10月3日（水） | 10月4日（木） | 10月5日（金） |
| [ ]  | B | 【１日目】基礎コース | 【２日目】実践コース | 【３日目】応用コース |
| 10月3日（水） | 10月4日（木） | 10月12日（金） |
| [ ]  | C | 【１日目】基礎コース | 【２日目】実践コース | 【３日目】応用コース |
| 10月3日（水） | 10月4日（木） | 10月19日（金） |
| [ ]  | D | 【１日目】基礎コース | 【２日目】実践コース | 【３日目】応用コース |
| 10月3日（水） | 10月11日（木） | 10月12日（金） |
| [ ]  | E | 【１日目】基礎コース | 【２日目】実践コース | 【３日目】応用コース |
| 10月3日（水） | 10月11日（木） | 10月19日（金） |
| [ ]  | F | 【１日目】基礎コース | 【２日目】実践コース | 【３日目】応用コース |
| 10月3日（水） | 10月18日（木） | 10月19日（金） |
| [ ]  | G | 【１日目】基礎コース | 【２日目】実践コース | 【３日目】応用コース |
| 10月10日（水） | 10月11日（木） | 10月12日（金） |
| [ ]  | H | 【１日目】基礎コース | 【２日目】実践コース | 【３日目】応用コース |
| 10月10日（水） | 10月18日（木） | 10月19日（金） |
| [ ]  | I | 【１日目】基礎コース | 【２日目】実践コース | 【３日目】応用コース |
| 10月17日（水） | 10月18日（木） | 10月19日（金） |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上

参考資料）選考基準について

応募者多数の場合は、下記のA)～B）の項目に対して評価を行い、下記計算式にて５点満点

で評価を行い、選考を行う。ただし、沖縄県在住者でない場合は失格とする。

判定算出式　X＝ A × 0.6 + B ×0.4

**A）会社が期待する役割/ポジションが研修の効果を配慮したものとなっているか（※１）**

**：ウェイト × 0.6**

　※１：応募シート記載の「推薦理由」及び「会社として、受講者に期待する効果」の内容により、

以下の評点により5点満点で評価

【評点】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **評価内容** | **評点** | **アンケート項目** |
| 受講後の役割ポジションが明確であるか | **各３点**※複数選択の場合も３点を上限とする | 従来の品質に関するテスト技術に加えて、セキュリティ領域の検証技術を習得し、検証サービスの付加価値向上に貢献できる人材を育成したい |
| 社内の開発業務において、製品品質や競争力向上のため、セキュリティ対策技術を習得した人材を育成したい |
| IoTを含めたセキュリティ全般に関する知識や技術を、社内環境の整備に活用あるいは、社内に普及、啓発していける人材を育成していきたい |
| **１点** | 現状では明確な役割/ポジションを想定していないが、IoTセキュリティに関する技術を習得して欲しい |
| 新規ビジネスにおいて役割を期待 | **２点**※プラス加点とする | 検証/開発という領域を問わず、新規ビジネスのチャンスとして、IoTセキュリティに関する事業企画や事業推進に参画していける人材を育成していきたい |

【研修で期待される効果】

・IoT領域におけるセキュリティ関連事業の獲得に向けた中核人材となってもらう。

　－CCDSガイドラインに沿って、より付加価値の高いIoT機器に対するセキュリティ評価・検証業務またはセキュリティ・バイ・デザインの考え方を踏まえ、検討したセキュリティ要件に沿った開発業務を実行できる人材。

－講習内容を活かして、社内環境のセキュリティ対策に活用あるいは、社内にセキュリティ意識を

普及・啓発していける人材。

－開発業務・検証業務を問わず、IoTセキュリティに関する新規ビジネス推進に参画できる人材。

**B）受講生のスキルレベルの充足度（※２）：ウェイト × 0.4**

　※２：募集要項の応募条件に記載された「受講に必要なスキルレベル」に対する充足度を、

下記の評点により5点満点評価（１）～３）の条件未達の場合は失格とする）

【評点】

・１）～３）の条件の充足項目を合計し、５点満点で評価する（最高５点）

　１）評価・検証業務または開発業務において、規定のプロセスに則った開発あるいはテストに、３年以上

従事した実績を有するエンジニア

⇒５点

　２）評価・検証業務または開発業務において、プロジェクトマネージの経験を３件以上有するエンジニア

⇒４点

　３）評価・検証業務または評価・検証業務において、セキュリティ対策あるいはセキュリティ検証に関す

　　　る従事経験を1件以上有するエンジニア

⇒１点

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上